

(11) キャンプファイヤー

実施形態	指導可能（自主活動でも安全指導は必要） ※指導依頼をせずに団体での自主活動も可能		自然体験・感性	克服・達成	創意・工夫	自主性・協働性	リフレッシュ・体力
提出書類	指導依頼用紙 レストラン注文票 ※自主で活動する場合でも安全指導があるため指導依頼用紙の提出は必須				★★★	★★	
必要経費	【指導依頼をした場合】 交流の家の担当（準備・リハ・安全指導・1部～3部の一部またはすべて） 1回5,000円+薪代（おおよそ1,200円） 【自主活動の場合】 交流の家の担当（安全指導のみ） 薪代（おおよそ1,200円）						
概要 (セールスポイント)	自然の中で炎を囲み、歌やレクリエーションなどを行うことで連帯感や友情を深めることができます。 日程の始めの方で実施すれば緊張をほぐし、親睦を深める効果があり、最後に実施すれば研修のまとめや自己を深く見つめる場になります。						
諸条件	場所	キャンプファイヤー場 草原ファイヤー場	対象	幼稚園児～			
	所用時間	【安全指導】20分 【リハーサル】1時間 【本番】1.5時間～2時間	人数	【キャンプファイヤー場】90人程度まで 【草原ファイヤー場】300人程度まで			
	時期	春～秋	天候	晴天時実施可能			
準備するもの	青少年交流の家で貸し出し可能な物		団体に準備する物				
	<ul style="list-style-type: none"> ・灯油 ・火の神衣装 ・薪割セット(鉋・土台・ハマ) ・音響機器 ・懐中電灯 等 		【事前】 <ul style="list-style-type: none"> ・係の選出(展開例参照) ※必須 ・せりふの確認と練習 ※必須 ・2部の出し物の準備(※自主の場合) ・ファイヤー用薪(30cm薪+60cm薪) ※注文必須 【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・トーチ ※必須 ・枯草 ・出し物に必要なもの ・軍手、燃えにくい服装 等 				

トーチ(角材使用)
※竹不可

活動内容 (手順)	所用時間	項目	内容	備考
	60分	準備・リハーサル	【団体および交流の家】 ①指導者への説明 ②活動の意義の確認 ③薪組み(キャンプファイヤーの組み立て) ④物品の確認・取り扱い説明・着替え ⑤リハーサル(役割の確認、せりふ、動きの練習、1・3部の流れの確認) ※安全指導も含む	※指導依頼をした場合 ※18:00 ごろから
	30分	安全指導	【交流の家】 ①薪組み(キャンプファイヤーの組み立て) ②トーチの扱い方について ③片づけについて	※自主活動の場合 ※16:20 ごろから指導者へ説明
	60分～ ※2部の内容に応じて	活動	【団体及び交流の家】 第1部 迎え火のつどい 第2部 交歓のつどい(レクリエーション・出し物) 第3部 送り火のつどい	※詳細は別紙【展開例】
	20分	後片付け	【団体】 ①火の鎮火確認 ②灰を一輪車に乗せて水をかける ②灰捨て場へ捨てる	

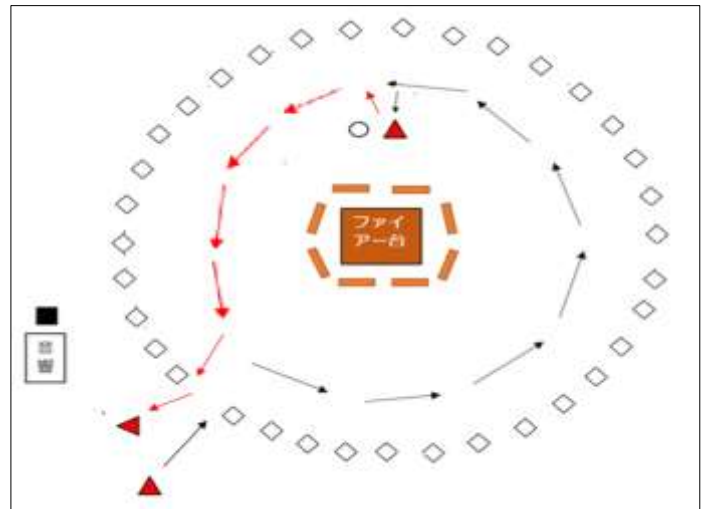
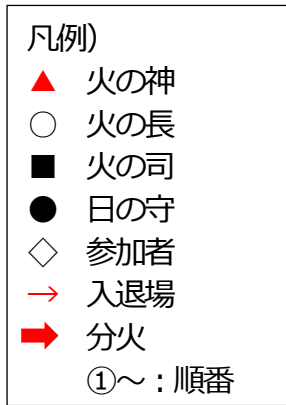
- (1) 交流の家職員・指導員への指導依頼をすることができます。
 指導内容は、リハーサル指導、1・3部補助、2部のレクリエーション進行です。
 指導料は1回5,000円です。指導依頼をされる場合は指導依頼用紙に必要事項を記入しご提出ください。
 ※利用の2か月前まで
- (2) 自主活動でされる団体様には、活動前に交流の家職員による安全指導(薪の組み方・片づけの仕方、分火・点火の仕方など)を行います。
- (3) 2部のレクリエーションのみの指導依頼も可能です。ご相談ください。(要:指導依頼用紙 有料)
- (4) キャンプファイヤー用燃料の料金は、【中詰め用30cm薪1箱】400円、【井桁用60cm薪1束】400円です。
 1回につき【中詰め用30cm薪】1箱、【井桁用60cm薪】2束を目安にレストラン注文票でご注文ください。
 ※当日実際に使用した分だけのお支払いとなります。
- (5) 指導依頼される場合も自主活動される場合も、事前に係の選出とセリフの確認と練習を行っておいてください。
- (6) 係の役割分担(例)

係名(人数)	第1部	第3部	備考
火の神(1~2)	入場・言葉・献火・点火・退場		
火の司(1)	ナレーター		
火の長(1)		言葉・受火・分火	団体の代表者が好ましい
火の守(5~10)	受火・献火		

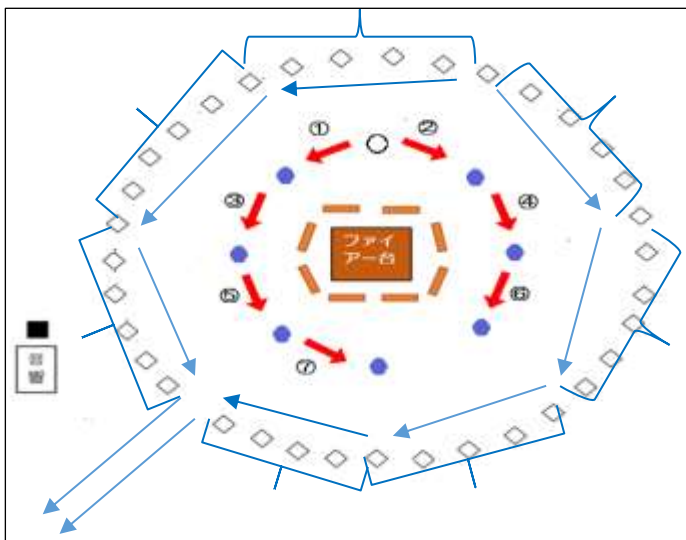
※キャンプファイヤーは決められたシナリオだけに頼らず、団体ごとで決めた動きやセリフの練習が重要です。あらかじめ十分な打ち合わせを団体内で行い、係に選出された人は十分な準備・練習を行いましょよう。

※屋外で夜間に行うため、紙を見ながら行かないと《第1部》と考えてください。

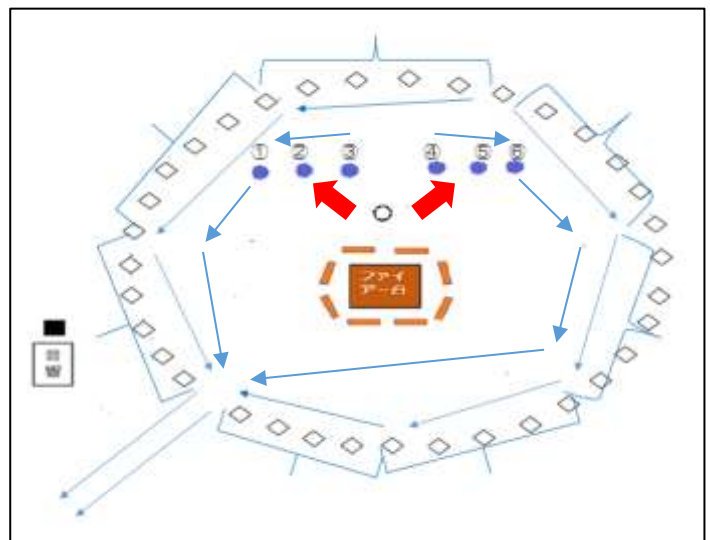
(7) 会場図



《第3部 A》



《第3部 B》



【展開例】

(1) 第1部 迎え火のつどい ※静かな雰囲気の中で行う

全体の流れ	役割分担	せりふ(例)
① 開会	火の司 全員 火の司	火の司 「ここ、阿蘇の地には、火山や草原、水源など雄大な自然が広がり、その自然は私たち人間にたくさんの恵みを与えてくれています。大昔から、阿蘇に住む人たちは、阿蘇の山々を『神楽の住む山』、火山から生まれる火を『御神火』として大切にしてきました。この豊かで美しい自然と生きている大地に囲まれた、ここ、阿蘇青少年交流の家も、また一日が終わろうとしています。自らの向上を願い、お互いの友情を深めようとして集まった〇〇〇(団体・学校名等)のみなさん、これよりキャンプファイアーを始めます。」 歌「(例) 遠き山に日は落ちて」をみんなで歌いましょう ※歌は各団体で決めていただいてもかまいません。 ○歌を歌う(2番はハミング) ○ハミングが始まったら 「まもなく、『御神火』を灯した火の神の入場です。みんなで静かに迎えましょう」
② 火の神の入場	火の神	○火の神がトーチをもって入場。 ○ぐるっと半周まわって、火の長の横につく。
③ 火の神の言葉	火の神	火の司 「ここで、火の神よりお言葉をいただきます。」 火の神 (各団体で考えていただいてもかまいません) (例) …私は、ここ阿蘇の山に住む火の神である。 今夜は〇〇〇(団体・学校名等)が、この阿蘇青少年交流の家で、キャンプファイアーをすると聞いたので、山から下りてきました。皆さん、この闇の中で、私の持つ火を静かに見つめてください。火は、遠い昔から人間だけに与えられた宝物です。これまでの人間の歩みのたくさんの場面で、火によって、私たちの命は守られてきました。しかし、この偉大な火が時には人の命を奪い、使う人の心により人類を闘争と破壊へと導いてしまったことも事実です。私たちは、火を正しく使う心を忘れてはいけません。今、ここに燃える火は、ここに集う私たちに、大きな勇気と自信を与えてくれ、私たちが正しく導いてくれるものと信じます。
④ 点火	火の司 火の神	火の司 「それでは、火の神によって、火がともされます」 ○火の神がトーチからキャンプファイアーへ点火する。
⑤ 火の神の退場	火の司 全員 火の神 (大人)	火の司 「今、火がともりました。この火がもっと大きな炎となるように、 歌「(例) 燃えろよ燃えろ」を歌いましょう。」 ※歌は各団体で決めていただいてもかまいません。 ○歌を歌う ○歌が始まったら、トーチを持ったまま、退場を始める。 ○火の神がある程度のところまで来たら、トーチを受け取り消火する。

(2) 第2部 交歓のつどい(レクリエーション・出し物) ※明るく楽しい雰囲気で行う

各クラス、グループの出し物やレクリエーションなど行う。

※指導依頼をされる場合は、交流の家職員がレクリエーションを行います。

※活動中は、ファイアー台に近づかないように注意しましょう。

※後半は、薪の追加を行わず、火を小さくしていきましょう。

※最後には、静かな歌やダンスをして隊形を整え、第3部への導入をする。

(3) 第3部 送り火のつどい ※静かな雰囲気の中で行う

全体の流れ	役割分担	せりふ(例)
① 第3部の開始	火の司	火の司 「とても楽しいひとときでした。しかし、もう夜もおそくなってきました。そろそろこの場所を野生の動物たちにゆずりましょう。」
② 分火	火の司 火の長 火の守	<p>火の司 「それでは、火の長より火の守へ『御神火』を分火いたします。」</p> <p>火の長 「ここに集う皆のものに神聖な火を与える。」</p> <p>火の長 「〇〇(火の守①の名前、またはクラス・グループ名)、汝に〇〇の火を与える。」 〇火の守①のトーチに火をつけていく。</p> <p>火の守① 「私たちはこの火に、〇〇〇〇・・・を誓います。」</p> <p>火の長 「〇〇(火の守②の名前、またはクラス・グループ名)、汝に〇〇の火を与える。」 〇火の守②のトーチに火をつけていく。</p> <p>《Aパターン》 … 日の守：円座 ※火の守③以降は、火の長のセリフの後に、隣の火の長のトーチから火をもらう。</p> <p>《Bパターン》 … 日の守：直線 ※火の守③以降も、火の長から直接火をもらう</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>※分火する火の名前は、各火の守の誓いの言葉を参考に決めてください。 ※日の守の人数は、クラス単位、グループ単位など、実施団体に決めてください。 ※日の守の人数分、トーチが必要です。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(以下、参考にしてください)</p> <p>火の長 「汝に協力の火を与える。」</p> <p>火の守① 「私たちはこの火に、みんなで協力して助け合っていくことを誓います。」</p> <p>火の長 「汝に友情の火を与える。」</p> <p>火の守② 「私たちはこの火に、仲間を大切に、チームワークを高めていくことを誓います。」</p> <p>火の長 「汝に努力の火を与える。」</p> <p>火の守③ 「私たちはこの火に、目標に向かって精一杯がんばることを誓います。」</p> <p>火の長 「汝に健康の火を送る。」</p> <p>火の守④ 「私たちはこの火に、強い心と丈夫な体を作ることを誓います。」</p> <p>⑤ 「尊敬の火」 私たちはこの火に尊敬する心を持つことを誓います</p> <p>⑥ 「思いやりの火」 私たちはこの火に思いやりの心をもつことを誓います</p> </div> <p>火の司 「今、それぞれの火の守に火が分けられました。」</p>
③ まとめの言葉	火の司 火の長	<p>「ここで、火の長より言葉をお願いします」</p> <p>(研修のまとめになるようなお話を)</p>
④ 閉会 退場	火の司 火の司 (大人)	<p>火の司 楽しいキャンプファイヤーの時間もいよいよ終わりとなりました。先ほどの火の守誓い、今の火の長の言葉を忘れず、これからもみんなで、よりよい〇〇〇〇〇(団体・学校名等)となるよう、一歩一歩進んでいきましょう。</p> <p>心を1つにし、歌「今日の日はさようなら」をみんなで歌いましょう。</p> <p>※歌は各団体に決めていただいてもかまいません。</p> <p>〇一番を歌い終わったら2番以降ハミング</p> <p>火の司 「退場を始めてください。」</p> <p>〇火の長から退場、その後、各火の守を先頭にグループごとに、ハミングしながら退場。</p> <p>〇火の長・火の守からトーチを受け取り消火する。</p>